

## 立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい

ルカによる福音書 22章31～34、54～62節

吾妻教会牧師 稲垣 真実



『仕方が無い』この2年間、何度そうつぶやいたことでしょうか。新型コロナウイルス感染症の混乱のなか、何が正しいのか誰にもわからないなかを、手探りで歩んできました。各地の教会で集団感染が起きたという報道がたびたびなされ、感染症に罹患することよりも、

世間の目におびえていました。一時は教会への風当たりも強くなり、ある県知事が教会施設の使用禁止を口走ったこともありました。近所の方から「(こんな状況なのに)教会やってるんですか?」と尋ねられ、内心ビクビクしながら礼拝を続けていることを伝えたこともありました。インターネットの活用などを進め、新しい教会の在り方を模索しながらも、礼拝に集まらないよう伝えることの後ろめたさはなくなりません。教会学校に子供を送り出すことをためらう親に、「子供たちを来させなさい。妨げてはならない」と伝えることができずにいる不甲斐なさに、打ちのめされるばかりです。本当にたくさんのことを『仕方が無い』と片付けてきました。

大祭司の家に連行されるイエスの後を追ったペトロも、『仕方が無い』と言い訳をしながら、イエスとの関係を否定し続けたのではないのでしょうか。イエスの弟子であると知られば、彼も捕らえられかねません。危険を冒してイエスの後を追ったのは、助け出す機会を窺っていたのでしょうか。案の定ペトロは、入り込んだ大祭司の家の中庭で人々に見つかり、咎められますが、『イエス様を助け出すためには、今自分が捕まるわけにはいかない』と言い訳しながら、けれど結局は何も出来ないうまま、否定の言葉を繰り返してしまうのです。そして彼が3度目にイエスとの関係を否定したとたん、鶏が鳴き、イエスは振り向いてペトロを見つめたのです。イエスと目が合ったペトロは数刻前

に、「今日、鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう」と告げられていたこと思い出し、外に出て激しく泣きました。

もしわたしが今、十字架へと向かわれるイエスと目を合わせたなら、とうてい平然とはしてられないでしょう。『仕方が無い』とつぶやいた数だけ、イエスとの関係を否定してきたように思えてなりません。しかし、ペトロを見つめるイエスのまなざしは、決してペトロを責め立てるようなものではなかったはずで、ペトロの離反をイエスが予告されたとき、同時にこのようにも語っておられるからです。「シモン、シモン、サタンはあなたがたを、小麦のようにふるいにかけることを神に願って聞き入れられた。しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい」。サタンのふるいにかけられ、あっけなくふるい落とされてしまうペトロのために祈り、そして挫折を味わい倒れ込んでしまうペトロが、立ち直って再び歩み出すことを信じて、イエスはペトロを見つめておられるのです。

この教区通信が発行される頃には、状況がどうなっているのかわかりませんが、少なくともこの原稿を書いている時点では新型コロナウイルス感染症の混乱は続いています。大規模な災害があっても、以前のように駆けつけることは困難な状況です。沖縄・辺野古への新基地建設も続けられていますが、抗議活動へ参加することも気軽にはできません。余裕なく目の前のことに手一杯で、サタンのふるいにかけられひとたまりもなくふるい落とされてしまう不甲斐なさを味わっています。しかし、そのように不甲斐なく、情けないわたしたちの信仰が無くなってしまわないために、イエスご自身が祈っていて下さり、「立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい」と、挫折し倒れ込んでいるわたしたちが、立ち直り再び歩み出すことを信じて見つめていて下さるのです。

## 按 手 礼 報 告

教区書記 小池 正造

11月27日に大宮教会を会場に秋季按手礼が執行されました。  
今回按手を受けられたのは、池田純平教師（村上教会主任担任）、西谷祐司教師（伊勢崎教会主任担任）、武石晃正教師（宇都宮上町教会担任）の3名です。



福島純雄議長は、ヨハネによる福音書21章13節以下の御言葉から、受按者にむけての励ましのメッセージをされました。ご自分の失敗の経験を持ちながら、どんな状況に置かれようとも、御言葉に向かい、説教を語ることの恵がある、と。それは、牧者として、その場に立たされ、否が応でも向き合わなければならない苦しみであったとしても、必ず恵みの時となる、と。それは、主イエスがペトロに向けて語られた「わたしの羊を飼いなさい」との呼びかけと同様に、あなただからこそ、わたしの羊を託するという牧者への信頼となるのだ、と。

按手を受けた後、3名は、それぞれの牧会の現場を踏まえた所信表明をされました。

特に、牧者がそこにいること、洗礼式、聖餐式の執行の重要性を、教会の実情に合わせて語られました。

なお、当日は、新型コロナウイルスの感染予防対策のため、出席者への制限がなされております。当日参加できなかった方は、関東教区ホームページから視聴することができます。教区ホームページの「日程・報告」の欄から、「2021年度」を選択していただくと、2021年度の日程一覧が表示されます。その中に、「秋季按手礼」の欄がありますので、選択（クリック）して進んでください。当日のプログラムの下の方にオンライン配信の案内があります。

# 祝 按 手

村上教会牧師 池田 純平



私は、学生の時に教団総会を傍聴し、日本基督教団が極めて政治的な教団で、合同によって生じた葛藤が過去ではなく今も続いている、と強く感じました。私は、「合同した」教団の歴史で生まれた「二種教職制」にも同じものを感じ、受験によってその葛藤を過去のことに切り捨ててしまう気がしたため、「正教師」受験を「保留」してきました。

しかし、まずはどこにでも遣わされ、宣教を継続することを優先し、受験へと至りました。合格に至らなかったり、再び悩んだりしたこともあり、受験は数年に及びましたが、多くの方の祈りがあって、合格となり、2021年11月27日に大宮教会で按手を受けました。

「正教師」となってからも、日本基督教団の教師として、「主にある共同教会」を信じ、歴史的課題に取り組み、わたしたちが共に生きるための合同教会とするべく、新潟県村上の地で、神と人にとに仕えて参る所存です。

宇都宮上町教会牧師 武石 <sup>てるまさ</sup> 晃正



この度は按手礼ならびに正教師任職の恵みにあずかることができたことを、教会の頭である主イエス・キリストに感謝します。

緊急事態宣言が国内で初めて発表され全く予測のつかない最中に、教会は准允を受けて1年足らずの伝道師を迎えてくださいました。口を挟みたいことは数多とあったでしょうけれど、試験の合格まではと忍耐をもって見守ってくださいました。

献身は神様からの召しへの応答ですが、その召しが確かなものであると教会が主に期待し祈り続けてくださったことを覚えます。教会が牧師にしてくださったのだと身をもって感じ、言葉にできない感謝と喜びで胸がいっぱいです。

これまでは緊急事態宣言のため県境をまたいで代務者が来ることができず聖礼典を執行できないということもありました。説教と諸式、聖礼典によって主の平安と慰めが豊かに与えられるような牧会、福音宣教に努めて参ります。

伊勢崎教会牧師 西谷 祐司



日本基督教団の教師になるための最初の関門は2018年11月の関東教区常置委員会の面接だった。翌2019年の2月末に教団の補教師試験を受け、4月に任地の群馬地区伊勢崎教会に赴任。5月に教区総会で東野尚志議長（当時）から准允をいただいた。2年後、正教師試験を迎えたが、この2年で世相は大きく変わり、「新型コロナウイルス感染状況に鑑み」ということで正教師試験の学科試験はレポートとなり、面接もオンラインだった。晴れて合格をいただき、昨年11月27日（土）、福島純雄議長の下で教区の秋季按手式に

臨んだ。2015年4月の神学校入学から数えると7年目の受按である。この間、祈りをもって支えてくださった伊勢崎教会および出身教会である大宮教会の兄弟姉妹、群馬地区、関東教区および神学校の諸先生方に感謝したい。そして、何よりも、このような小さく弱い器をも御業のために用いてくださる神様に感謝である。



## 追悼・石川喜一教師

深谷西島教会・兵庫教区山手教会牧師 竹内紹一郎

石川喜一先生は、92年余の地上の生涯を終え、昨年11月14日に主の御許に召されました。同月17日に葬儀が行われ、私はご遺族とベウラ教会の姉妹に主のお慰めを祈らせていただきました。

先生とのお交わりは、先生の授洗教師の藤村壮七牧師の恩師で英国国教会宣教師B. F. バックストーン師の来日とその働きを記念して、毎年11月に教団渋谷教会で行われるバックストーン聖会において主の臨在と御言葉の恵みを共にさせていただくことでした。先生は恩師より受け継がれた聖霊による聖潔の恵みを、生涯「求道者」として慕い求め続けられました。

教団との関わりは、日本聖書神学校校長であった金井為一郎師がYMC A東山荘に行かれる道中に、当時国鉄の御殿場線の車内で出会われたことです。石川青年が車内で聖書を開いて読まれている

のを金井師が見られて、同神学校での学びに導かれて、卒業後教団渋谷教会伝道師に就任され、その後東武練馬近辺での開拓伝道に取り組み板橋北伝道所を開設され、第二種教会昇格時に板橋ベウラ教会に改称されました。その後教会移転を余儀なくされ、現在地の新座に移転、日本基督教団ベウラ教会として1987年より35年間新座市を中心に埼玉県南部の救霊に勤められました。

その中で、多くの献身者を養成輩出され、現在教団常議員を始め各地の教団教会牧師、福音派教会の伝道者として主の福音宣教の御業を担う主の器を育てられました。今、先生は天上でテモテ後書4章5節から8節の「義の冠」をもって主の報いを受けておられることでしょうか。ご遺族と御教会に主の格別のお慰めを祈ります。

## 関東教区の働き——年度報告精査委員会

年度報告精査委員会委員長・上尾合同教会信徒 金刺 英雄

昨年度と今年度はコロナウイルス感染症拡大により礼拝休止はじめ各集会の中止やオンラインでの開催等、多くの困難の中でデータを集計する年度報告提出にご協力頂き感謝いたします。経常収入支出の落ち込みや各集会の人数把握の困難の中にあつた事と思います。そんな大変な中「年度報告」を、提出して頂いて感謝いたします。立場上提出して頂いた報告について気がついた事を記します。

1. 「正確な年度報告」の作成は例年の課題ですが各地区の教会、伝道所に於いて正確さに向けて努力されている事に感謝いたします。
2. A表はおおむね良好です。
3. B表は「会員の増減」の欄の未記入が見受けられます。書式が複雑な面もありますが、正確な記載をお願いします。
4. C表は一部に収支や繰越金等の計算ミスが見られます。毎年良くなっていますが正確にお願いします。特に伝道資金を受けた教会、伝道所で記載漏れが多く見られました。又、手計算で提出される場合単純な計算ミスに注意して下さい。
5. 年度報告から困難の中にある教会、伝道所を覚えます。共に互助、連帯を深めて参りましょう。
6. 最後に「年度報告」提出期限の厳守をお願いします。一教会、伝道所でも遅れますと教区全体のデータが変わって来ます。負担金の計算や教団への報告等支障を来しますのでご指導宜しく願います。

## 第71 総会期第4回常置委員会及び第9回常任常置委員会報告

教区書記 小池 正造

2月1日に第9回常任常置委員会を、8日に第4回常置委員会をリモートで開催しました。

- ・新型コロナウイルス感染拡大によって、開催が延期されてきた教区新任教師オリエンテーションが、ZOOMを用いて、1月7日に開催され、29名（新任教師17名）の参加がありました。
- ・教団年金局からの報告で、関東教区からの申し入れを受けて、教団年金局でも隠退教師が代務者に就任するためなどで、現役復帰した場合でも、継続して年金を受給できるように、教規の一部を変更することを、常議員会、教団総会に提案する準備をしていることが報告されました。
- ・互助委員会報告がなされ、2021年度の宣教協力費の再配分、2022年度地区伝道支援金の配分額が決定したことを報告しました。
- ・書面決議で行われた第71回教区総会記録が可決されました。
- ・地区総会に配布をする教区議長挨拶（教区総会議長報告）を、地区総会に配布することを可決しました。
- ・2022年度教区活動方針について、今年度同様にコロナ禍にある教会・伝道所の支援を中心に作成され、意見交換をしました。
- ・2022年度関東教区教会負担金割賦案は、2021年度当初予算を維持する形で、第71回教区総会で可決された議案17号、新教区教会負担金割賦計算式をもとに計算され、41,026,000円（昨年度比607,000円減）となりました。各教会・伝道所の今年度当初教会負担金額は、2021年度当初教会負担金額並みとなります。
- ・2022年度予算案は、新型コロナウイルスの蔓延終息を願い、各部・委員会の活動の再開を前提として現状維持で組みました。教区総会は、対面で行うことと前提として、教区総会献金25万円、教区総会費280万円を計上しました。教育奨学金の充実を図り、教育費互助基金繰入に50万円を計上しました。
- ・2022年度教区互助について、謝儀互助の受給申請教会は、13教会（新潟愛泉伝道所、見附教会、前橋中部教会、桐生教会、太田八幡教会、宇都宮東伝道所、益子教会、諸川伝道所、鳩山伝道

所、加須教会、秩父教会、桶川伝道所）となり、支援総額は9,414,400円となります。あわせて2022年度ナルドの壺献金目標額を今年度と同額の1,200万円としました。ご協力をお願いいたします。

- ・緊急互助申請内規を、以下のように変更しました。第5条（新・案）災害復興または、教師とその同居家族（・扶養家族）の医療費支払い、その他の理由で生活に大きな支援が生じ緊急互助の必要が認められる場合、または隠退教師が復帰して代務者に就任し、年金額より謝儀が少ない場合、地区長は当該教会・伝道所に助言し教会・伝道所は具体的理由を記した「教区教会互助緊急互助申請書」（様式2）を教区に提出しなければならない。なお教師とその同居家族（・扶養家族）への緊急の貸出についても同様である。
- ・2022年度教団部落解放センター活動献金の目標額を、35万円とすることを決め、教区総会に提案することにしました。
- ・第72回教区総会について、現状では対面でさいたま市民会館を会場に行う準備を進めています。最終決定は4月常置委員会で行います。仮執行順序を検討し、教団総会議員選挙、教区執行部関連選挙を中心に日程を準備しています。2日目午前には、教団問安使を受け入れ、教団機構改定などについて、協議をする準備をしています。また、食事に関しては、それぞれに周辺の飲食店を利用させていただきます。

### (1) 教師異動

|       |   |            |
|-------|---|------------|
| 竜ヶ崎教会 | 就 | 中田 正道（担・正） |
| ベウラ教会 | 就 | 竹内 成子（代・補） |

### (2) 届け

教会規則変更  
東大宮教会（役員数変更）

異型の新型コロナウイルスは、感染力がかなり強く、身近に感染者が出た、濃厚接触者となったと耳にすることが多くなってきています。各教会・伝道所でも、困難な中、様々な工夫をしながら礼拝を守っておられることをと存じます。また、ご家庭で礼拝をという方や自粛中の方も多いと思います。一日も早く安心して礼拝が守れる日が来ることを心より祈り願っています。

◎書類一式を、3月初旬にお届け致します。

教区負担金割賦額案、年度報告書、教区総会関係、社保・教団年金関係等の書類を送付いたします。同封の「送付書類・受領・提出確認表」で過不足を確認した後、担当者へお渡しください。説明書をよく読んでご記入ください。そして、書類の提出期限・通数を確認の上、遅れないように教区事務所にお送り下さい。

◎教区ホームページをご活用ください。

各種申請書や年度報告書のフォームがあります。パソコン上でも作成できとても便利です。ぜひ、ご活用ください。年度報告書はプリントした後、必ずA3版に拡大して2部ずつご提出ください。

◎「自動払込希望科目確認書」提出18日〆切

新年度も自動払込を希望される場合は、締切日を厳守し確認書をご提出ください。ゆうちょ銀行への払込額通知締切日の関係で、遅れた場合、自動払込ができませんのでご注意ください。

◎2022年度 教団年金掛金互助申請書の提出

新年度、年金掛金互助を希望される教会・教師は、地区決裁後、教区事務所に5月末必着でご送付ください。6月第1回常置委員会で審議し決定されます。その後の受付はありません。

◎年度末の送金は、お早めに。

3月最終週の送金は、次年度扱いになる場合がありますので、3月25日までにご送金ください。

◎預け入れや送金の際は、手数料の確認を。

「赤い用紙で払い込んだのに、110円払わされた。なぜですか？」との質問が数件ありました。

今年1月16日から、ゆうちょ銀行の手数料が少し変更になりました。ご確認の上送金してください。

基本的な予防策であるマスク着用・手洗い・うがい・消毒・体温測定にもすっかり慣れてきました。3回目のワクチン接種が済んだ方も多くなってきました。早く不自由な生活から解放されて大きく深呼吸したいものです。もう少しの忍耐です。皆なで気を付けて、この時を過ごしましょう。

◎健康保険料、介護保険料の料率が改定されます。

2022年3月分より、料率が改定されます。

健康保険料 9.80% → **9.71%へ**

介護保険料 1.80% → **1.64%へ**

◎3月分の自動払込日は、3月25日(金)です。

3月分から社会保険料が変更になっています。改定された保険料率で、計算し不足の無いように期日前に入金しておいてください。

◎退職時の被保険者資格喪失について

5日以内に被保険者・被扶養者分も含めて全員の保険者証を教区事務所へ返却してください。

◎新規加入を希望される方について

年度初めは、加入手続き後保険証が手元に届くまでに2、3週間かかります。新規加入に必要な書類がありますので、早めにお問合わせ下さい。

◎協会けんぽ 報酬額報告書の提出について

等級決定(保険料算定)のための大事な届出書です。教会総会において決定された月額謝儀、保険者番号など、記入漏れがないかを確認してからお送りください。

◎4月～6月分保険料は、3月分と同額です。

新年度、謝儀額に変更がある場合でも、加入者全員、4～6月分の保険料は変更ありません。保険料に変更がある場合は、必ず教区事務所から事前に通知をします。増減して保険料を送らないでください。

◎被保険者生活習慣病予防健診の受診について

各自が健診機関で予約をとり受診できます。1年1回の健診について、けんぽ協会から補助があり、補助金を差し引いた額で受診できます。

◎「特定健診受診券」は、ご自宅に届きます。

被扶養者(配偶者)の特定健康診査受診券・パンフレットは、ご自宅に送付されます。

編 / 集 / 後 / 記

長引くコロナ禍ですが、なかなか気持ちが晴れない人が多いのではないのでしょうか。これまで当たり前のように行っていた行動が制限されることはつらいことです。しかし、よく考えてみると、行動が制限されている分だけ、自分の時間を持つことができるようになったのでは

ないですか? その時間をどのように使うか、神さまは期待しておられます。繰り返し読みたくなる聖句を聖書の中から探す時間に充ててもいいでしょう。聖書の言葉には力が満ちあふれていますので、きっと、元気を与えられることでしょう。

(森田泰司)